

区分	評価指標	平成22年度	平成23年度	平成24年度	対前年度比	図書館運営全体					
図書館運営	基本的サービス					自己評価			外部評価(%は外部評価者の割合)		
	資料購入費:決算数値(千円)	55,704	50,642	54,842	8.3%増	・平成24年度の資料購入費、蔵書冊数、貸出冊数ともに前年よりは増加している。様々なジャンルにおいて利用者のニーズを踏まえ、適切な選書を実施し蔵書を増やすよう努めた。 ・登録者数は毎年減少しているが、広報紙の効率的な配布を考えたり、図書館の外に一步出た事業を行うなどして図書館利用を市民に働きかけた。今後もまた、様々な方法で新規登録者を増やすよう、引き続き努めていく。			1 大変評価する。 36%	・貸出冊数の増加については評価する。 ・図書館の外で事業を行ったことについて今後の活動を期待している。 ・中堅男性にアピールをしていく努力をしてほしい。 ・図書館に来たことがない人へのアピールの仕方を考えてほしい。 ・登録者数の減少幅は縮小している。 ・オンライン化の便利さを伝えられているかは疑問である。 ・登録者数の減少の理由について検討してほしい。 ・質の向上へ展開を進めてほしい。 ・絶版本でも良い絵本などは古本でも収集できないか。	
	蔵書冊数(冊)	372,746	412,938	431,605	4.5%増						
	貸出冊数(点)	1,430,674	1,524,734	1,555,212	2.0%増						
	登録者数(人)	60,114	54,640	52,856	3.3%減						
(内新規登録者数)	8,071	7,608	7,223	5.1%減							
区分	評価指標	平成22年度	平成23年度	H24目標値	理由	平成24年度	評点	評価(次年度への展開)			
施策・事業	課題解決型図書館					自己評価			外部評価(%は外部評価者の割合)		
	レファレンス件数(件)	4,124	4,250	4,300	対前年度増	3,808	1	・レファレンス件数は10%減少した。 ・来館者数の減少のほか、パスファインダー(テーマ別調べ方案内)の設置により、来館者自身で調べられるようになり、簡易な調査相談件数が減少したと考えられる。 ・今後も、課題解決型図書館の重点項目と位置付け、レファレンスサービスの周知と活用に向けて努力していく。 ・予約件数は増加しており、オンライン利用が浸透して利便性が高まっている。 ・ホームページはトップ画面へのアクセス数をカウントしているため、直接資料検索ページにアクセスしたような件数はカウントされないことや、図書館の開館時間や事業が利用者に周知されてきたのでアクセス数が減少したと考えられる。	1 大変評価する。 30%	・オンラインの予約、希望図書館での貸出・返却ができるのが良い。 ・ホームページが利用し易いようにという内容は評価できるが、内容がありすぎてトップページが少し詰め込みすぎではないか。 ・全市と中央で異なる結果が出ているが、課題は何か。 ・レファレンス件数の減少について他の理由がないのか検討が必要ではないか。 ・ビジネス支援とはせず、通常の相談として処理してはどうか。 ・資料検索ページのアクセスが多ければトップ画面アクセスは気にしなくてもよいのではないか。 ・ホームページの項目によるカラー分けができないか。	
	個人予約件数(件)	143,249	166,115	167,000	施設目標	172,846	4				
	ビジネス支援サービス相談受付件数(件)	330	340	340	施設目標	251	1				
	ホームページアクセス件数(件)	1,657,851	1,311,816	1,480,000	新・総合計画	1,259,914	1				
	分権型図書館					自己評価			外部評価(%は外部評価者の割合)		
	郷土・行政資料の蔵書冊数(冊)	33,419	35,133	36,000	対前年度増	36,288	4	・蔵書冊数は、2.3%、貸出冊数は1.7%増加した。 ・特別コレクション室では、年4回新潟市ゆかりの作家や郷土をテーマに展示会を実施し、所蔵する郷土資料の紹介を行っている。地域研究グループと連携した「會津ハルを支えた高橋きい子と沼垂」展では、資料の展示にあわせて講演会を開催し、幅広く紹介することができ、貸出冊数が増加した。	1 大変評価する。 64%	・重要な分野なので一層期待する。 ・展示会が貸出冊数の増加に繋がっている。 ・蔵書は今後も増やす努力をしてほしい。 ・街歩きマップなども郷土の資料としてPRしてほしい。	
	郷土・行政資料の貸出冊数(冊)	8,347	10,195	10,200	前年度並	10,378	4				
	学・社・民融合型図書館					自己評価			外部評価(%は外部評価者の割合)		
	児童書の貸出冊数(冊)	262,309	297,740	298,000	対前年度増	315,068	4	・児童書の貸出冊数、小中学生への貸出冊数は東区プラザ図書室の利用増もあり目標に達した。 ・子ども・親子対象事業の参加者数は、マンガ関連の集客力の大きな展示の回数が減少したため目標を下回った。 ・職場体験受入はサービス第1係と学校支援センターが協力して目標値に達した。 ・講師派遣は、効率化を図り1回あたりの派遣職員数を減らしたこと、要請が25回から13回に減少したことにより目標に達しなかった。 ・子ども・親子対象事業の参加者数が大幅に減少したが、集客力のあるイベントの回数が減ったため、5周年記念イベントなど一般対象の事業が多かった。	1 大変評価する。 40%	・貸出冊数が増えたのは良い傾向である。 ・集客力のあるイベントも大切ですが、教育の充実に係るイベントが大切である。 ・更に活発に展開してほしい。 ・もう少し子ども中心のイベントが欲しかった。 ・30分のお話会は駐車場代がかかるので無料参加できない。 ・マンガの展示は、市が専用の施設を新設したため減らしたのか。	
	小中学生への貸出冊数(冊)	132,436	142,543	143,000	施設目標	145,290	4				
	子ども・親子対象事業の参加者数(人)	6,585	8,598	8,600	前年度並	5,559	1				
	職場体験受入人数(人)	71	64	64	施設目標	64	3				
	講師等としての派遣職員数(人)	35	49	50	施設目標	24	1				
	パートナーシップ型図書館					自己評価			外部評価(%は外部評価者の割合)		
図書館事業のボランティア活動者数(延人数)	348	450	500	対前年度増	485	2	・ボランティア活動者数は、目標値には達しなかったが昨年度の数値を上回った。(数値は、ブックスタートを除く子どもの読書活動関連事業におけるボランティアの活動者数) ・ボランティア団体交流会参加者数は若干減少した。 ・共催事業実施は施設目標にあげて、開館5周年記念事業も含めて前年度より増加し目標を達成した。	1 大変評価する。 36%	・ボランティアの活動者数が増えたことは評価する。 ・ボランティア活動に期待している。 ・民間団体との共催事業を続けてほしい。 ・ボランティアのステップアップにも力を入れてほしい。 ・図書館からも働きかけて共催を行っていることがうかがえる。		
ボランティア団体交流会参加者数(人)	87	39	40	前年度並	35	2					
利用者懇談会の開催回数(回)	—	—	—	H26までに実施	—	—					
共催事業の実施回数(回)	32	36	36	施設目標	60	4					
運営(職員)					自己評価			外部評価(%は外部評価者の割合)			
研修参加職員数(延人数)	—	187	190	施設目標	132	1	・職員数が減少した図書館もあり、業務の効率化を図って必要な研修に絞って実施したため、目標には及ばなかった。今後もそれぞれの職員に必要な業務能力を伸ばすため、研修の実施に努める。	1 大変評価する。 11%	・苦労は理解できる。 ・職員の減少の中での努力は評価する。 ・目標が高すぎるのではないか。 ・対前年度比で全館より数値が小さいのはなぜか。 ・人員の削減は残念である。		

※施策・事業の評点は1:目標値を大きく下回った 2:目標値を少し下回った 3:目標どおり達成 4:目標値を上回って達成
 ※教育ビジョン:市教育委員会が策定した指針、新・総合計画:市の目指す都市像に向けた行政計画、組織目標:市が実施している組織ごとの行政評価